

令和6年度第3回川崎町議会（9月定例会議）一般質問通告一覧表

その1

議員名	件名	要旨
<p>1 政時 喜久美</p>	<p>1. 入札執行のあり方について (町長)</p>	<p>① 8月8日の議会の議案第8号から第10号の豊州改良住宅改善共同住宅C号棟建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事の入札結果が令和3年・4年度に実施した大峰改良住宅改善共同住宅C号棟建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事の入札結果と比較すると落札金額が大幅に上がっている内容を問う。</p>
	<p>2. 本町公共工事の竣工検査について</p>	<p>① 本町では毎年度数十億円の公共工事を発注していますが、実施した工事を検査する町検査員の職歴を問う。</p>
	<p>3. 公金の不明金について (教育長)</p>	<p>① 令和5年12月13日に社会教育課内で施設使用料が紛失した事件の役場庁内と田川警察署の捜査経過はどうなっていますか。</p>
	<p>4. 刑事告訴費用 80万円について (町長)</p>	<p>① 刑事告訴費用 80万円予算計上しておりますがその内容について問う。</p>
<p>2 手嶋 真由美</p>	<p>1. 聴覚補助器等の積極的な活用支援について</p>	<p>① 聴覚補助器を必要とする方々への情報提供の機会や補聴器等のお試し利用ができる場所の整備など、高齢者が自分に合った聴覚補助器を適切に選択できる環境を整備すべきと考えるが、見解は。</p> <p>② 聴力の低下に悩む高齢者が、医師や専門家の助言のもとで補聴器を積極的に活用できる環境を整えるために、購入の費用を助成する制度の創設はできないか。</p> <p>③ 役場を訪れた耳が聞こえにくい高齢者や難聴者と円滑にコミュニケーションをとれるようにするため、軟骨伝導イヤホンを導入してはどうか。</p>

令和6年度第3回川崎町議会（9月定例会議）一般質問通告一覧表

その2

議員名	件名	要旨
2 手嶋 真由美	2. 子育て世帯への訪問支援事業の推進について	<p>① 本年4月、「子ども家庭総合支援拠点」「子育て世帯包括支援センター」の機能を生かした「こども家庭センター」の設置が努力義務となったが、本町には設置されているか。</p> <p>② 子ども家庭センターと合わせて「子育て世帯訪問支援事業」「児童育成支援拠点事業」「親子関係形成支援事業」の3つの新たな支援事業の実施も努力義務とされているが、子ども家庭支援センターの設置と、その事業展開に向けて本町はどのような取り組みが進められているか。</p> <p>③ 産後ケアの現在の取り組みの現状は。</p> <p>④ 子育て世帯訪問支援事業についての取り組み状況は。</p> <p>⑤ これから新設されていくこの事業には、専門性を持った担い手が必要とされるが、まだわずかしかないのが現状、大事な役割を果たす、「産後ドゥーラ」（支援員）の養成・確保についての考えを尋ねる。</p>
3 山下 美穂	1. 役場から住民への電話について	<p>① 役場の職員等から住民へ掛けた電話に出られなかった場合に、着信履歴に代表番号しか残らず、発信した所属がわからないため困っている人が多く見受けられる。なにか対策はないかお尋ねします。</p>
	2. 総合健診の予約方法について	<p>① 総合健診の電話予約の人数、WEB予約の人数、その他の人数についてお尋ねします。</p> <p>② 現在のWEB予約方法を以前コロナウイルスワクチン接種予約のときに実施していたラインで完結する予約方法に変更できないかお尋ねします。</p>

令和6年度第3回川崎町議会（9月定例会議）一般質問通告一覧表

その3

議員名	件名	要旨
<p>4 櫻井 英夫</p>	<p>1. 田川地域融和推進策について (町長)</p>	<p>① 「船頭多くして船山に登る」の諺があるが、田川の政治環境はこの状況に近いのではないかと危惧している。ケンカ、争いばかりしては田川市郡の発展は望めない。そこで次の事を提案するので推進して頂きたい。</p> <p>(1) 公共施設使用料は田川郡市民で差をつけない</p> <p>(2) 田川市郡共同で行う新しいイベントを創出する</p> <p>(3) 福岡県、田川市、田川郡3者での広域政策協議の活性化</p>
	<p>2. 介護保険料の平準化について (町長)</p>	<p>① 昭和33年(1958)にスタートした国民健康保険。その国保財政は約60年を経てようやく県単位となり安定した。更には、保険料率の平準化の議論に入ろうとしている。一方、平成12年(西暦2000)にスタートした介護保険は旧国保の仕組みを踏襲しており市町村単位で賄っている。本町は広域連合に参加してスケールメリットを享受しているものの高い保険料を負担させられている。国保にならない財政は県単位とし、保険料も平準化すべきではないか。国・県に働きかけをして頂きたい。</p>
	<p>3. 除草対策について (町長)</p>	<p>① 北国の除雪対策に対し南国の除草対策。町内の除草対策にも自助・共助・公助があると考える。人口減少に反比例して生活圏に雑草が繁茂し寂れた感を一層際立たせる。定住促進のためにも雑草に対して町を挙げて対策を講ずる必要はないか。</p>
	<p>4. 家庭教育支援について (教育長)</p>	<p>① 教育基本法で定める本町の家庭教育支援についての実績と今後の改善すべき課題は。学びっ子補習、公的学習塾土曜の風など学力向上に注力しているが、基本的な生活習慣習得事業は一過性で終わっている。国・県のメニューを踏襲することはもとより、本町の独自性を発揮した施策の立案を求む。</p>

令和6年度第3回川崎町議会（9月定例会議）一般質問通告一覧表

その4

議員名	件名	要旨
5 千葉 加代子	1. ナショナルミニマムについて	① 本町のワーキングプアの現状等は把握できていますか。 ② 体験格差が問題になっているが、対策等は。
	2. 土砂災害について	① ハザードマップは更新されていますか。 ② 行政区ごとの対策会議等は要請していますか。 ③ 今後の方針は。
	3. 学校部活動の地域クラブ活動への移行について	① 現在の部活動の実態は。 ② 今後の計画は。
6 松岡 久代	1. De・愛横のキャンプ場について	① De・愛横のキャンプ場建設が断念に至った経緯。
	2. 新しい道の駅（内容）について	① どういう道の駅を作ろうとするのか。 ② 地元の雇用対策、集客人員の見込み、経営の収支状況の見込み。 ③ 事業の規模、財源の予算。 ④ 用地取得の状況（地権者の人員）、用地交渉等の経過（用地費用予算等） ⑤ 県道、国道に隣接するため、福岡県との協議経過。
	3. 消滅可能性自治体問題について	① 県内で8つの市町村が消滅可能性自治体とされ、田川郡では添田町、川崎町と2自治体が含まれています。これから先の予測をお尋ねします。

令和6年度第3回川崎町議会（9月定例会議）一般質問通告一覧表

その5

議員名	件名	要旨
7 川根 節生	1. 総合健診で「緑内障」の検査項目の充実を	① 現在、本町で実施されている総合健診では「緑内障」の検査は行われていますが、「眼底検査」だけではなく「眼圧検査」「視野検査」「OCT検査」を加えた、より正確な充実した検査にできないか。
	2. 帯状疱疹のワクチン接種費用を公費補助の定期接種へ検討を	① 痛みを伴う水ぶくれが帯状に現れる皮膚疾患の帯状疱疹のワクチンについて、厚生労働省は接種費用を公費で補助する定期接種に含める方針を決めました。今後、接種の対象年齢などについて議論した上で正式に決定するとしています。正式に決定されれば、本町として定期接種に向けた検討をされるのか。
	3. クーリングシェルターの施設場所を明確に	① 冷房施設が整っている場所をあらかじめ確保することが、熱中症リスクの低減につながります。地方自治体によってあらかじめ準備されたクーリングシェルターの活用が効果的とされており、誰もがいつでも利用できるシェルターとして利用できる施設場所の明確化は図れないか。